



## 清水君を送つて

丹 波 浪 人

内務省の道路課長であつた清水良策君が、這般行はれた地方官の更迭に當つて静岡縣内務部長に轉任した。確か氏が今の丹羽社會局長官の後を襲つて港灣課長から道路課長になつたのは昭和四年であつたと覺えてゐるが、在任二箇年半、短いやうでもあるが又永いやうでもある。氏が此の期間我が路政の爲に盡して呉れた其の效績を想ふと、今更ながら惜別の感に打たれる。

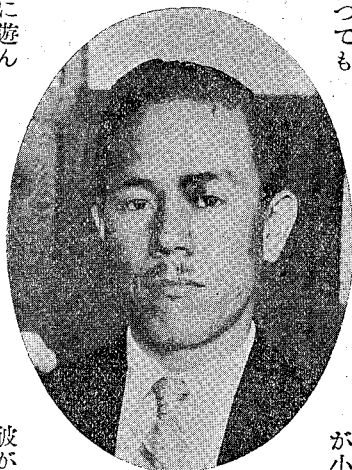
氏が路政に遺した著大なものは、何と言つても例の失業

救済道路事業である。消極一點張りで政治をしやうとした民政黨内閣時代に、積極政策を採る政友會内閣でさへも執行し得なかつた大道路事業を執行したことは、假令夫れが政府の最高政策であつたにしても、之が事務を圓滿に執行し、豫定の成績を擧げ得るやうにお膳立てしたことは、全く氏の努力に依るものである。斯う言ふのは内務省の土木技術の執行は二つに分れてゐて、一は土木工事を直接に施行する技術官と、他は府縣や其の他官民の企興する土木を

監督する技術官とに分れてゐて、兩者の所見は常に必ずしも一致するものではない、夫れに失業救済道路事業は監督技術官方面で設計され、之を直轄施行技術官に執行せしめんとするのであるからデリケートな問題が起るのであるが、氏は例の鷹揚な態度で小事や感情に拘泥しないで、圓滿に兩者を結び附けたことは何と言つても氏の手腕に依つたものである。

彼は實によく遊んだ、日曜には乗馬で郊外に一日送る。土曜日の午後はテニスをやるスキー、スケート等々と運動する。圍碁は勿論將棋麻雀と言つた調子で勝負事を好んだ、夫れに熱すると晝夜の別なしに遊んだ。従つて彼は呑氣な遊手事務官と觀られることがある。

成る程、彼は六ヶ敷顔して朝から晩まで小理屈を並べたり、折角の日曜に原稿料稼ぎをするやうな小さな男ではない、夫れよりは遊んで英氣を養つて置くと考える方に頭を向け



る男である。其の英氣を利用して難問の解決に方るのであつたが、常に案件に對する結論を創定するに妙を得て居た、従つて小理屈を言ふことは彼の最も嫌つたところであつた。あの人は良く小理屈を言ふが問題の到達點を何處に求めやうとしてゐるのであらうか氣の毒な人だ。とは常に彼

が小理屈屋を評する言葉であつた。他人が八ヶ間敷論戰して遂に自分が先きに主張した結論に漕ぎ附けたとき、清水は心竊かに會心の笑を表はすことがあつても、決して自分の賢明を誇るやうな態度を見せない、夫れが彼の將來を矚目さるゝ點であり

彼が同僚間に人氣を博した點であつた。前内閣時代の次田内務次官は、いつも筆者等にコー言つた。清水君は實に運のよい男だ、港灣課長時代には土崎港小名濱港其の他六港の港灣改良費豫算を成立せしめ、道路課長時代には大道路事業を計畫した。あれ程恵まれた男は

ないと。成る程、無爲に終らなければならなかつた前内閣時代に、新たに港灣や道路事業を起し得たことは運の廻りが良かった勢かも知れないが、其の總てを運勢に結び付けて彼を評價することは、彼の功績に對して氣の毒である、矢張り彼が人知れず苦心した努力を認めねばならぬ。曾て内相官邸で開かれた失業防止委員會で失業救済道路事業の執行成績を非難されたとき、大野社會部長を向に廻して論戰した如きは、蓋し夫れの表はれの一つであらう。

現内閣の某省政務次官で内務行政に精通する某が、清水君を何故内務本省から放り出したのか惜しいことをした。と筆者に物語つたことがあるが、筆者も亦同感である。彼が轉任した事に就ては色々と言ひ囃されてゐる。或は彼が麻雀に凝つて次田前内務次官と共に遊びに耽つた爲に、次田系と見られたからだと言ふ人もあるが、次田は人に知られてゐるやうに嚴格其のものを代表したやうな男で、決して公私を混交しない。麻雀の始めか終りの寸暇を利用して公務の事などを話すと、是迄の笑顔は俄に一變して何事も

答へないと言ふ位に嚴格な人である。夫れに其の事を以て次田系と目し放り出したものとすれば、餘りに事を辨えない遣り方と言はねばならぬ。或は彼は原内閣時代に、俵孫一や谷口留五郎等と共に長崎縣知事を誅首された島田剛太郎の女婿だから、反政友系と睨まれたのだと言ふ人もある。併しいかに感情的にやつた人事であるにしても、大正六年の大昔に於ける親父の因縁で彼を責めないであらうから之も當らない評言である。或は彼が内務本省に這入つたのは大塚惟精の周旋であつたから民政系と見られたのだと言ふ人もある。若し斯様な因縁で人事を決したものとすれば、筆者は官界人士の爲に起つて其の不當を責めなければならぬ。轉任せしむるに至つた緣由が奈邊にあつたか判らないにしても、今日の道路行政は昔の夫れと違つて、交通界に進出した自動車があるゆる既存の陸上交通機關に對し、曾て豫想もしなかつた衝動を興え、日一日と變つて行く交通狀勢に應じ、嶄新な識見を以て行政せなければならぬ現狀にあるとき、多くの經驗と卓越した識見を持つる彼を、我

が路政界から去らしめたことは、國家の損失と言つても過言ではない。

政變ある毎に事務官を更迭せしむることの可否は、こゝに筆するまでもなく世の識者が鑿鑿してゐるところであつて、政務と事務とを混同した遣り方であるばかりか、政黨者流の官界抑壓である。政友會にしても民政黨にしても、心ある人々は口でこそ言はないが、今日の此弊害を艾除することに心を悩ましてゐるであらうが、吾等の官界も亦獨自の立場に於て政黨者流に對抗すべく何等かの方途を講じ

なければならぬ時期に差迫つた。筆者は故のない清水君の轉任を見て更に其の感を深くする。

敬愛する清水君、吾等が計畫しつゝある對抗策に依つて、君が受けたやうな不快の念を、後人の爲に再び與えないやうに努力するであらう。行く先、静岡は氣候も可い自然に恵まれてゐる土地柄で、君の運動家には詭え向きの地だ、夫れに酒も良くアレも亦悪く無い筈だ、餘り泣かさすのも罪だが、茶切節でも稽古して時機の到來を俟つ自重が必要である。

## 道路に關することを

——福島國道就業労働者の生活状態に就て——

池 本 泰 兒

昭和七年度は土木工事を失業救済工事として施工しないと云ふ様なことが新聞にちよいちよい見える。澤山の土木

工事を起すとすれば、自然失業者が無くなるから、失業救済工事はする必要がないことになるのかも知れない。何れ